



3月議会で話し合い、決まったこと。主な内容をお知らせします。

市営住宅の入居申込者資格にパートナーシップの宣誓をした方が追加されます

第32号議案 多摩市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

議案の内容

市では、令和4年2月1日に多摩市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱を制定し、いわゆるパートナーシップ制度を開始した。
制度開始を受け、住宅確保、住居安定の配慮等の観点から、パートナーシップの宣誓をした方を市営住宅の入居要件である「同居親族」に含めるための改正を行う。

確認したこと

- ・パートナーシップ制度の宣誓をした方から住宅の相談が寄せられたことは、これまでのところはない。
- ・不動産事業者などへの働きかけとしては、民間の不動産事業者、UR都市機構、J K K (東京都住宅供給公社)が入っている住替え・居住支援協議会で取組みを周知していくほか、平和・人権課からも不動産業者に向けて案内していくことを予定している。

市道5-35号歩線、通称レンガ坂の工事内容が変更されます

第39号議案 市道5-35号歩線道路改良工事の請負契約の締結についての議決事項の一部変更について

議案の内容

通称レンガ坂の工事について、倒木の危険がある樹木を全て伐採して新たな樹木を植樹、経年劣化したレンガ調タイルを剥がしアスファルトに舗装、歩行者道と自転車道の優先ゾーンの整備、広場内の利用導線を補うロータリー形状のベンチを設置、休憩スペースのイベント利用対応整備という内容の契約を、令和3年第2回多摩市議会定例会において議決した。

令和3年6月に着工し、10月に樹木の伐採工事を行うための工事説明会を実施したが、伐採しないしてほしい等の意見が多く寄せられたことから、工事を一時中断し、追加工事説明会、整備方針説明会を実施した。寄せられた意見等を検討し、当初の目的から逸れない範囲で且つ、市民の意見を可能な限り反映させるため工事内容を下記のとおり一部変更した。

一変更内容(契約額に影響する分)一

- ①樹木はすべて伐採するのではなく一部を残し、伐採対象とならない樹木に対し、幹や枝の強剪定を行ったうえで支柱等の設置を行う。
- ②レンガ坂橋補修工事について、当初の設計で想定した材料による補修が困難であることが判明し、橋りょう下の道路への安全を図るため、既設塗膜材の全撤去の追加及び撤去後の工事内容について変更。
- ③追加説明会実施までの期間、工事を一時中断したことによる、工期及び工期の延長に伴う経費の変更。

以上の対応として、契約金額を6,034万3,800円増額し、工期を令和5年6月30日まで延長する。

確認したこと

- ・残した19本のユリノキは、倒木対策として何らかの支え等を行わなければ倒れる危険性が拭えず、剪定と倒木対策を含めて1,000万円程度を見込んでいます。
- ・今回の予算を単純に割り返すと1本あたり50万円くらいのランニングコストとなるが、実際には5年後にまた1,000万円かかるのかということ、そうではないと考えている。剪定については、例えば5年後に剪定するとなると、最大200万円程度かかると想定される。
- ・街路樹は道路法で道路附属物という扱いなので、万が一、倒壊等により第三者に被害がもたらされた場合は道路管理者の責任となる。
- ・当初案にあった自転車道の整備について、優先ゾーンのしつらえはしない取扱いとなった。今後、アスファルト舗装やレガシー広場等でのさらなる補正予算の増加は考えていない。
- ・一定の手続きの後に、本件と似たような案件が起き、主張が平行線のまま停滞するといった例もあり、今回の提案となった。今後は合意形成を丁寧に行うとともに、議会と共に二元代表制の一翼を担う市長として、全会一致で議決されたことの重みを真摯に受け止め、今回の件を今後の事業執行への教訓とする。

提出した意見書

意見書は、市の公益に関することについて、多摩市議会として国や東京都に意見を表明するものです。

※全文は、多摩市議会ウェブサイトをご覧ください

件名	概要	提出先
エッセンシャルワーカーの抜本的な処遇改善を求める意見書	看護師・保育士・看護職員・介護職員等のエッセンシャルワーカーの処遇改善の措置を正規非正規・官民の区別なく行うこと、国はそのための財源保障を行い、申請手続きの簡素化をはじめ民間経営と自治体を援助することを求める。	内閣総理大臣 厚生労働大臣 など
地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書	政府に対して、子どもたちの学びの継続、医療への適時適切なアクセス、新しい分散型社会の構築、持続可能な地域の医療と介護、地域住民の安全で安心な移動など、特に地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進について、特段の取組みを求める。	内閣府特命担当大臣(地方創生) デジタル大臣 など